

飯島賢二の『恐縮ですが…一言コラム』

第 486 回 ジョークで追う、国民性の違い

2012.8.19

第30回オリンピックロンドン大会、参加 204 の国・地域のすべてが女性選手を送り込むという歴史的な大会となった。華々しい表舞台の裏で、韓国選手の領土問題を主張した愚行パフォーマンスや、カメルーン代表の7選手が選手村から失踪など、最大級の国際的イベントゆえ、多くの国民性の違いを露呈する事件等があったようである。

国民性、政治思想を披露するのではなく、今回は国民性の違いを、ジョークで追ってみた。目くじら立てるほどの話ではない。単なるジョーク集である。

「最高の生活は、どんなものだい？」

「アメリカで給料をもらい、イギリスの邸宅に住み、中国人のコックを雇い、日本人を妻にすることさ」 「じゃあ、最低の生活は？」

「中国で給料をもらい、日本の住宅に住み、イギリス人のコックを雇い、アメリカ人を妻にすることさ」

自分の国の悪口を言うのが日本人

日本人の悪口を言うのが韓国人

日本人と韓国人の悪口を言うのが中国人

無人島に男ふたりと女ひとりが流れ着いた。さあどうする？

フランス人の場合：女は片方の男と結婚し、もう一人と不倫する。

アメリカ人の場合：女は片方の男と結婚し、離婚してから次の男と再婚する。

ロシア人の場合：女は好きではない方の男と結婚し、そのことを一生嘆く。

ドイツ人の場合：女と男ひとりが結婚し、残りの男が立会人を務める。

日本人の場合：男ふたりは、どちらが女と結婚したらいいか、本社に問い合わせる。

ある船に火災が発生した。船長は、乗客をスムーズに海に飛び込ませるために、

アメリカ人には、「飛び込んだら、あなたはここでヒーローになれますよ」

イギリス人には、「紳士はこういう時に飛び込みものです」

ドイツ人には、「あなたは、飛び込まなくてはならない、それがルールです」

イタリア人には、「さっき美人が飛び込みました」

ロシア人には、「ウオッカの瓶が流されました。今飛び込めば間に合います」

フランス人には、「海に飛び込まないでください」

中国人には、「海に美味しそうな魚がいっぱい泳いでますよ」

北朝鮮人には、「今が亡命のチャンスです」

そして、日本人に対しては「みんなもう、飛び込みましたよ」

「船長、まだ韓国人が残っていますが…」

韓国人に対して言おうとした時、船長がそれを止めました。

「やめておけ、後で服が濡れたと謝罪と賠償を要求されてしまう」

いやはやどうも、各国の国民性を垣間見た。